夢をかたちに！～石川たくみの実績～

①三浦市facebookページの導入（三浦市役所市長室facebook）
②議会活動の情報発信（市内議員で唯一、HP･ブログ･facebookを更新）
③バクテリアdeキエーロの提案　→ 清掃事業所にて検証中
④クラウドファンディングの提案 → 観光商工課にて検証中
⑤ツイッターによる選挙啓発の提案 → 選挙管理委員会にて検証中
⑥ゴミ収集がわかるアプリ「5374 for Miura」民間CSRでの導入
⑦会派主導の三浦市議会基本条例 制定（ネット中継・議会報告会等）

市会議員となって一年半が経ちました。
多くの方のお力のおかげで、いくつか政策実現を叶えられました。
三浦市を一歩でも前に、今後も積極的に政策提案を続けて参ります！

1973年　三浦市海外町生まれ、現在初声町下宮田 在住
　　徳風幼稚園･三浦市立三崎小･三崎中学校 卒業
1992年　神奈川県立追浜高等学校 卒業
1996年　早稲田大学教育学部 卒業（東京都豊島区に下宿）
1996年　凸版印刷株式会社 入社
2001年　有限会社丸石製作所入社（漁労機械･自動車整備販売）
2011年　公益社団法人三浦青年会議所 第50代理事長

資　格：自動車整備士２級･検査員･損害保険普通･中古車査定士･
　　スキー（SAJ１級･クラウンプライズ）
好きな言葉：「一期一会」、"Stay hungry.Stay foolish."

まちは、皆さんの声によってつくられます。市政に皆さんの声をお届けします。

三浦への思いやご意見を書いてＦＡＸ下さい！
あなたの声をかたちにするために全力で行動します。 FAX：046-888-3393

氏名：　　住所：　　電話：

かけはし

三浦市議会議員
石川たくみ活動報告
第３号　2015 1月

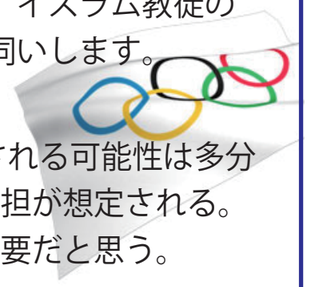
ごあいさつ

「三浦をよりよくするために、何かをしなければならない！」
皆さんも気持ちは同じではないでしょうか？三浦市を一歩でも前に進めたい、そんな思いから政治を志し、2013 年 6 月の三浦市議会議員補欠選挙に**挑戦**しました。当選以来 7 回の議会定例会出席を経験し、様々な切り口で一般質問や委員会での発言・審議をしてまいりました。今まで支えて下さった皆様へ感謝を申し上げます。本当にありがとうございます。
2014 年、政治と金や議会でのヤジ、政治家の決め方の問題で、政治不信が深まりました。改めて気を引き締め、より謙虚により一層挑戦していくことで、政治家としての信頼を積み重ねていきたいと思います。「すべては三浦のために」。初心を忘れず**挑戦**してまいります。今年もご指導ご鞭撻宜しくお願いします。

三浦市議会議員　石川 巧

おもてなしの心あふれる国際観光地 三浦へ！

【石川質問】 2020年東京オリンピック・パラリンピック開催は、三浦市にとって大きなチャンスです。今後5年間に外国人観光客が倍増することが想定されています。2020年に向けて、外国人観光客をおもてなしする環境整備に努めていただきたいと思います。外国人観光案内所・体験型プログラム・メニューや案内表示の他言語化・Wi-Fi等の導入検討をお願い致します。
　最近、三浦市内に来るイスラム教圏のお客様が増えていると聞きます。「豚肉は食べられないが、まぐろは食べられる」と魚料理を食べにくるムスリムが来店するそうです。魚や野菜が豊富な三浦市として、イスラム教徒の食べることのできる「ハラルフード」への対応についてお伺いします。



【経済部長答弁】 三浦市の食材がハラルフードとして認定される可能性は多分にあるが、認証を受け、毎年更新をするには、高額な費用負担が想定される。市内の各事業者が、経営の見地からどのように考えるかが重要だと思う。

討議資料　発行：石川たくみ後援会　238-0112 初声町三戸 317-2　080-5675-0117

Ameba 石川たくみブログ 随時更新中！

【三浦市会議員
石川たくみオフィシャルブログ】

Ameba石川たくみオフィシャルブログを随時更新しています。私の政策についてや日々の活動に関して情報発信をすることで、政治を身近に感じて頂きたい、また私石川たくみという人間や政策を皆様に知って頂きたいと考えています。

ネット検索で「**石川たくみ**」と打つと、Amebaブログ（通称アメブロ）やホームページを見ることが出来ます。
ぜひご覧下さいますようお願いします。

9月3日一般質問　空き家バンク・空き店舗バンクについて

【石川質問】全国的に空き家の増加が問題となっています。
2014年7月に公表された「平成25年度住宅・土地統計調査」のデータによりますと、全国の空き家総数は約820万戸、空き家率13.5%で過去最高となりました。
今後も増加傾向は止まりません。空き家の安全・安心な管理とともに、人口急減に対する定住促進策や地域経済活性化として、**空き家バンク・空き店舗バンク**を推進すべきだと考えますが、導入の可能性をお伺いします。

【市長答弁】**空き家バンク**はさまざまな自治体が行っていることからも、一定の成果が期待できると思う。三浦市に合った制度を研究していきたいが、まずは地元の不動産業界の皆様にニーズや扱う範囲等を確認したい。

12月9日一般質問　クラウドファンディングの提案

三浦市議会において私が一般質問で提案してきた中で、一つの成果を得ることが出来ました。12月定例議会一般質問において、財源対策としての新しい寄付のかたち「**クラウドファンディング**」を提案した結果、平成27年度実施に向けて、前向きに検討していくというご答弁を頂きました。観光商工課において観光案内版等で現在調査検討中ということで、今後の展開が楽しみです。
　これからも、三浦市が一歩でも前に進める前向きな提案をしてまいります。

クラウドファンディング"CrowdFunding"とは…
ある志やアイディアを持った人や団体に対する資金を、ネットを通じて多数の支援者から収集し実現する手法です。寄付型、購入型、投資型等があります。

9月3日一般質問　土砂災害対策（避難勧告について）

【石川質問】8月の広島土砂災害を初め、全国的に集中豪雨による被害が広がっています。広島土砂災害において、**避難勧告**発令のタイミングが遅かったのではないか、という批判がされました。「空振り」を恐れず早めの避難勧告をためらわないという意識を行政・市民双方で理解しあえるよう努めていただきたいと思います。
三浦市における土砂災害に対する**避難勧告**の発令基準は、三浦市に土砂災害警戒情報が発表され、かつ斜面の亀裂等、前兆現象が確認された場合となっています。そのような事態になるまで**避難勧告**が出せないと、住民避難が遅れるようにになってしまうのではないでしょうか？見解をお伺いします。

【総務部長答弁】ここ数年、全国各地で頻発している短時間で降る記録的な豪雨に対応するため、**避難勧告**等の基準を見直す必要は認識している。
既に担当課内でも検討を始めており、各防災関係機関の意見を得て、実効性のある発令基準となるよう進めたい。

12月9日一般質問　地方創生について

「**地方創生**」の取り組みは、まちづくりの、地域再生のラストチャンスともいわれています。人口減少や地域経済の活性化は、三浦市にとっても重要課題であります。私は、9月議会におきまして、「消滅可能性都市」にリストアップされた危機感から、人口減少対策のプロジェクトチーム立ち上げや、新しいまちづくりのきっかけとしての国家戦略特区の活用を要望させて頂きました。

昨年11月に、**地方創生関連２法案**が成立しました。それにともなって、地域活性化統合事務局が、より総合的コンサルタントとして機能することを目指し、２７年度には、地域再生をするための予算や税制によるさらなる支援が期待されています。内閣府のまち・ひと・しごと地方創生本部や地域活性化統合事務局に用意された様々な制度を積極的に活用すべきだと思います。
「**まち・ひと・しごと創生法**」は、政策の目的や全体的な戦略策定の方法など枠組みを定めたもので、細かい施策を決定したものではありません。法案を読むと、自治体が策定する地域版総合戦略は、「国及び都道府県の総合戦略を勘案しながら、総合戦略を策定すること」とあります。しかし、素直に国や県の戦略を勘案してしまえば、三浦市の総合戦略は、金太郎あめのように全国どの自治体とも同じような総合戦略になってしまい埋没してしまうのではないか、と危惧しております。大切なことは、三浦市という地域の特性、良さを生かしていくという事です。国や県の発想を超えて、三浦市が何を考え、何を実現しようとするのか？今ある地域資源を再発見し、自主的で地域性を持ったビジョンが求められているのではないかと考えます。そのためにも、早急に人口急減対策や国家戦略特区を組み込んだ「**地方創生プロジェクトチーム**」を立ち上げていただきたい。いまこそ強い危機感をもって、三浦市内外のあらゆる叡智を集め、市民や企業を巻き込んで、侃々諤々の議論を重ね、このまちにしかできないアイディアにあふれた総合戦略を策定し、新しく設置される「地方創生特区」や「地域再生計画」に認められていくべきであると考えます。
　人口減少と高齢化が急速に進むなか、若者の働く場所をどうやって作っていくのか？消滅都市とならないための生き残りをかけて、「**地方創生**」の取り組みが早期に実施されるために、今後も提案・行動をしてまいります。